



## Looking Back on

# TIRI's HISTORY 【Vol.3】

100年

## 2021年、都産技研は設立100周年を迎えます。

始まりは1921年10月、大正時代に設立された府立東京商工奨励館であり、その後4つの試験研究機関(府立東京商工奨励館、東京市電気研究所、東京府立染織試験場、東京都立アイソトープ総合研究所。いずれも設立当初の名称)が順次統合され今日の姿となりました。

100年に一度のこの機会に、都産技研はさまざまな記念事業に取り組んでまいります。

このコーナーではこれまでの歴史を振り返り、都産技研の100年を少しずつひも解いていきたいと思ひます。

## 『転機』

今から半世紀前の1970年、東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センターが設立されました。

主に機械と化学の分野を支援する東京都立工業奨励館、電気の分野を支援する東京都電気研究所が一緒になることで、幅広い産業への支援が可能となり、都産技研にとって大きな転機でした。

相談窓口や研究室、研修施設などがある本館、加工装置などの重量物を設置した別館、音を計測する建物など、敷地約33,500㎡、総延床面積約26,700㎡の施設でした。都心からも最寄り駅からも少し離れていましたが、多くの企業や業界の方々にご利用いただきました。また、商店街に近く、近隣の方々との交流もあり、施設公開には多くの方にお越しいただくなど、地域に密着しながら歩んできました。

その後、東日本大震災が発生した2011年、40年間にわたり活動を続けた北区西が丘を離れ、本部を江東区青海に移転しました。少し寂しい気持ちですが、現在、建物は取り壊され、一部には別の施設が建ち、時代が変化していることを感じさせられます。

都内中小企業の技術支援という使命は変わりませんが、産業動向や変化に対応し、私たち都産技研も変革してきました。50年後、100年後に、その変革が良い転機だったと振り返られるような歴史を刻んでいければと願っています。

(設立100周年記念事業プロジェクト実行委員会)

府立東京商工奨励館

1921年設立

東京市電気研究所

1924年設立

東京都立工業奨励館

1943年設立

東京都電気研究所

1943年設立

東京都立工業技術センター

1970年設立

東京都立工業技術センター設立までの沿革



東京都立工業技術センターの外観  
(北区西が丘)



2011年に移転した都産技研本部  
(江東区青海)